

平成30年度 第7回全体庁議（8月10日開催）

区分	審議・ 報告	案件名 (担当部)	(2) 第三期環境モデル都市行動計画の策定について[市民環境部]
----	---------------	--------------	----------------------------------

■ 提案・報告の趣旨

環境モデル都市認定後、10年が経過し、本年度が第二期環境モデル都市行動計画(平成26年度～平成30年度)の最終年度であることから、次期計画策定に向けた考え方やスケジュールについて、平成30年8月31日に開催される厚生委員会に報告するもの。

■ 提案・報告の主な内容(概要)

1 計画策定の趣旨

環境モデル都市認定後10年が経過し、第二期環境モデル都市行動計画の最終年度を迎え、環境モデル都市構想を推進している内閣府から今後も引き続き、各都市が行っている低炭素社会の構築に向けた取り組みを積極的に推し進めるといふ旨の方針が示されている。

本市としては、第三期環境モデル都市行動計画を策定し、今後も取り組みを着実に推進することで持続可能な低炭素社会の実現を目指すもの。

2 課題

家庭部門からの温室効果ガス排出量が全体の3割以上を占めている。世帯数の増加やライフスタイルの変化に伴い、年々増加しており、市民の具体的な省エネ行動などによる家庭部門からの排出抑制が課題となっている。また、その他の部門においても、取り組みが遅れが見られるもの等があり、今後の取り組みの見直しを検討する必要がある。

3 計画の期間

平成31年度から平成35年度(2023年度)までの5年間とする。

4 温室効果ガス削減目標(平成12年(2000年)比)

短期目標:平成35年(2023年)までに23%削減

中期目標:平成42年(2030年)までに30%削減

長期目標:平成62年(2050年)までに50%削減

5 計画の視点

課題となっている家庭部門からの削減には、新エネ・省エネ機器の導入が効果的であることから、導入促進をはかるほか、市民への省エネ意識のさらなる普及啓発などを進める。また、十勝・帯広の基幹産業である農業をはじめ様々な分野において新たな取り組みを検討するなどして、本市の地域特性を踏まえた計画とする。

■ 今後のスケジュール

平成31年3月の計画策定を目指し取り組んでいく。

- 平成30年8月31日 厚生委員会へ報告
 - 平成30年9月 市民アンケート
 - 平成30年11月 素案作成
 - 平成30年12～1月 パブリックコメント
 - 平成31年2月 計画案作成
 - 平成31年3月 計画策定
- ※この間、適宜、所管委員会等で報告を行う

■ 審議結果

- 同内容で、8月31日厚生委員会へ報告することで了解された。

■ その他、指摘事項等

特になし